

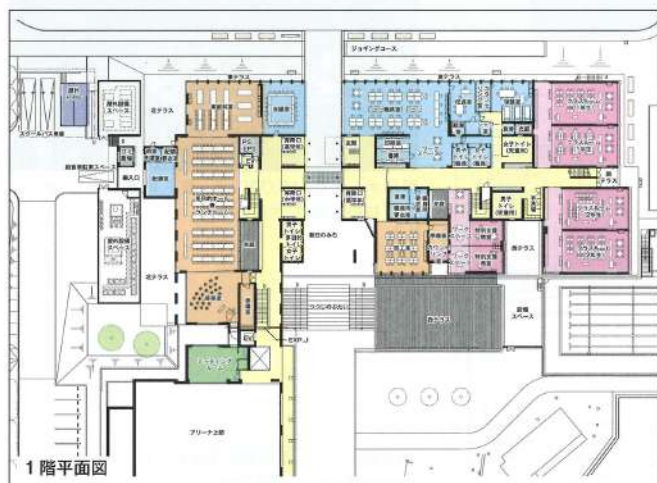
地域特別賞

東北地区

# 矢祭町立矢祭小学校



国道から運動場に向かって校舎を貫き、まちと学校を繋ぐこの道を、子供たちは毎朝、朝日に向かって登校する



「矢祭小学校」は町のシンボルになる施設「住んでみたい、住み続けたい、やまづり町」を理念に「積極的な子育て支援を町政の集大成」として建設された。平成24年から計画、平成29年開校。矢祭町の東館地区へ小学校5校を統合し町唯一の小学校となった。

「まちの様相に符合させる」敷地は国道より5m程度高い旧東館小の敷地を利用していることから街のスケールから突出しないように配慮している。まちの様相に合わせ、切妻屋根が連続するデザインとするとともに、高さのある体育館は標高が低い国道沿いに配慮している。正面にフェンスや閉鎖する門が無く国道から直接アプローチ可能な低層部に開かれた体育館や児童クラブを配置し子供たちや地域住民の交流が活発になった。

「仕上げ工事の精度を確保」内部木質系の仕上りの出隅入隅を役物なしの設計に対応して何通りものサンプルを作成し実現させている。

「いつでもまちに開かれた学校」国道近くに近接した体育

町のすべての子供たちが集まることができる多目的ホールは、昼はランチルームとして、放課後は地域の集会場として多様に使われている



妻入の街並みと符合させた切妻屋根が連続する。「朝日のみち」がその校舎を貫き、まちと学校を繋ぐ



|                        |                                           |
|------------------------|-------------------------------------------|
| 所在地                    | 福島県東白川郡矢祭町大字東館下上野内 10                     |
| 敷地面積 (m <sup>2</sup> ) | 26,660                                    |
| 建築面積 (m <sup>2</sup> ) | 4,259                                     |
| 延べ面積 (m <sup>2</sup> ) | 6,040                                     |
| 構造/階数                  | RC・一部 S 造/地上 2                            |
| 事業者                    | 福島県矢祭町                                    |
| 施設管理者                  | 矢祭町立矢祭小学校                                 |
| 設計者                    | (株) 三上建築事務所・(株) 山辺構造設計事務所、<br>(株) 明野設備研究所 |
| 施工者                    | 藤田建設工業 (株)、佐藤建設 (株)                       |
| 竣工年月                   | 2016 年 6 月                                |
| 総工事費                   | 2,000 百万円                                 |

館の前に路線バスの停留所を配置し、体育館のピロティの下を通っていたり、住民が自然と利用している。体育館の夕景はまちの灯りとなっている。

「地場産の木材を利用」町の西側の八溝山の八溝杉を使用している。

ランチルームの自由な利用で、放課後の子供たちの居場所となっている。学校の各スペースは豊かで、多様な利用に対応している。

30kWの太陽光発電を設置するとともに、細やかな設計により、自然採光・自然通風の確保をし、環境負荷低減を行っている。

町の理念である積極的な子育て支援を町政の集大成と位置付けて建設された小学校は、その理念に沿った建築空間となっていることを評価し、地域特別賞にふさわしい水準の施設であると判断した。

(東北地区審査委員会 石田壽一審査委員長評)